

令和2年度『中野の子カラ応援事業補助金』事業一覧

整理番号	事業名	事業主体	新規・継続	事業内容	補助率	交付決定額(円)	確定額(円)
1	新おはなし塾 学びあう大人	新おはなし塾	新規	同団体の申請4年目の事業。現在、小学校で英語教育が必須になるなど、子どもたちは早い段階からグローバルな感覚を養うようになっている。そんななか、子どもたちに本の魅力を伝えるためには、伝える側も昨今の国際情勢や、人種差別問題などの知識と教養を身につけなければならないと感じている。 今年度からは、昨年度までの年齢別の本についての直接的実用的な学びではなく、伝える大人の幅広い知識と教養の豊かさを追求する学びをしたい。 【H29】10千円【H30】90千円【R1】111千円	9/10	112,000	107,000
2	「草津道(忠治)の石橋」案内石碑建立	「草津道(忠治)の石橋」保存会	新規	新規事業。中野市竹原には、江戸時代の任客「国定忠治」が渡ったとされる石橋が存在している。この石橋は、かつての草津道の名残といえるものであり、石橋のある若宮堰(八ヶ郷用水)は、国から疏水百選に選ばれている。このように文化的に価値のある石橋の石碑の設置と、保存・情報発信を目的とする。	3/4	300,000	300,000
3	地域の魅力発信情報誌「おらほのヤンドモ」作成事業	公益社団法人中野青年会議所	継続	2年目の事業。昨年度に引き続き、中野市内の保育園、幼稚園、小学校に対して地域の魅力発信情報誌「おらほのヤンドモ」を配布する。内容は、「すごい子50人!!」長所を褒めて自己肯定感を高めるもの、「お仕事紹介」などの地域へ就業意欲を高めるものが主である。また、今年度は新たに地域の民話や神話を漫画で分かりやすく伝え、郷土に愛着を深める。【R1】300千円	3/4	300,000	300,000
4	信州なかのクリエイターズチャンネル	結文舎	新規	新規事業。中野市にはさまざまなアーティスト、クリエイターが活躍しているが、その活動が広く知られているとはいえない状況である。こうしたアーティスト、クリエイターを講師として迎え、子どもたちに、ものづくり体験、Web動画の撮影、編集等を体験させたい。子どもたちには、中野市においても多様な選択肢が広がっていることを伝え、アーティスト、クリエイターの活動を広く知ってもらい、SNSなどでの中野市の魅力発信につなげたい。	9/10	300,000	300,000
5	地域(子供・高齢者・障がい者)の居場所づくり事業	信州Gプロジェクト	継続	2年目の事業。引き続き、子どもたちの生きるチカラを養うために、親子で参加できるものづくり講座「ひょうたんランプ作り」を行う。昨年度はだやしやGのみでの開催であったが、活動場所をこども食堂や高齢者サロンや障がい者サロンにも広げ、高齢者の生きがいづくりや人々との暖かいつながりを作り、コミュニティの強化につなげる。人口減少社会を生きる今、中野市をこども食堂を核とした「子育てしやすい町、暖かい地域」を目指す。 【R1】63千円	3/4	264,000	264,000
6	中野市役所花壇やその周辺の植栽・整備及び花育・緑育できる人材育成のための講座開催事業	花と緑を育てる会	継続	3年目の事業。昨年度に引き続き、中野市役所及び周辺の花壇に季節感あふれる花と緑を植栽し、景観を整える。今年度からは、地元で活躍している人を講師に迎え、手入れだけでなく、育てた花等を使った植物の利用法等についての学習を行うこととする。組織強化のための会員募集も引き続き行い、ボランティア組織へ方向づけていく。 【H30】200千円【R1】300千円	9/10	199,000	199,000